

門司港地域複合公共施設整備事業〔概要版〕

【北九州市公共施設マネジメント実行計画 門司港地域モデルプロジェクト再配置計画】

1 事業の目的・概要

老朽化が進み近い将来建替えが必要な公共施設を門司港駅付近に集約し、複合化・多機能化することで、施設整備費、維持管理費、運営費を削減する。また、利便性の向上及び市民サービスの効率化を図るとともに、市民利用施設や図書館の公共施設を活かし、地域の活性化に寄与する。

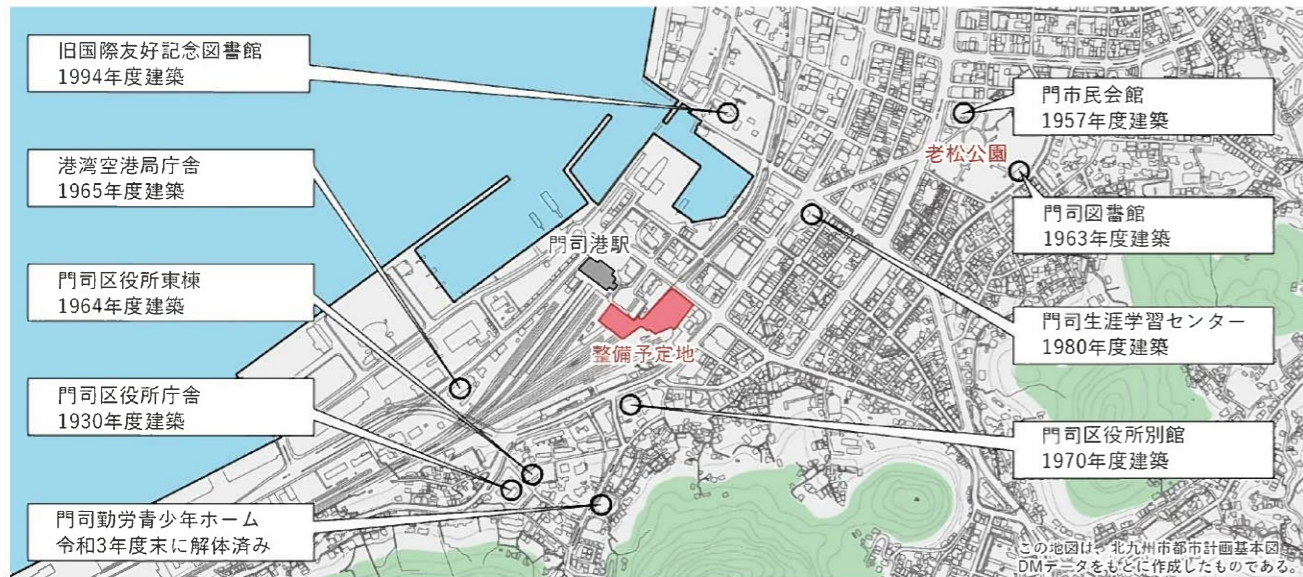
- ・交通利便性の高い門司港駅付近に公共施設を集約することで、区内各地からのアクセス利便性を高める。
- ・ホールや会議室、図書館等の文化施設を一体的に整備することで、より活発な活動を支える環境づくりを進めるとともに、周辺地域の活性化や賑わいの創出を図る。
- ・移転跡地を地域に応じた利用に転換することで、地域の魅力を高める。

【事業概要】

事業名：門司港地域複合公共施設整備事業
事業箇所：北九州市門司区清滝二丁目ほか

2 モデルプロジェクト再配置計画（門司港地域）

【集約施設の位置】



【公共施設集約化の対象施設と延べ床面積の変化】

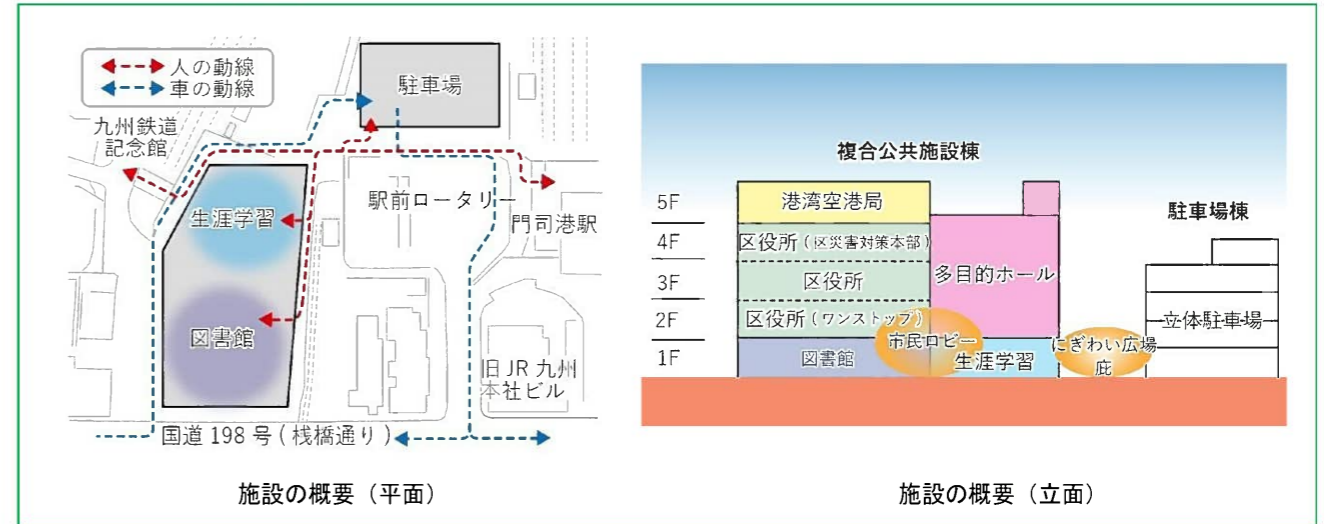
現況施設		現状		計画	概要
市民利用施設	門司市民会館	3,700㎡	8,500㎡	3,590㎡	・多目的ホール ・座席数見直（800→500） ・会議室機能の見直し
	門司生涯学習センター	3,000㎡			
	門司勤労青少年ホーム	1,800㎡			
図書館	門司図書館	1,000㎡	1,800㎡	1,700㎡	・2施設を1施設
	旧国際友好記念図書館	800㎡			
庁舎	門司区役所	7,100㎡	10,600㎡	8,860㎡	・会議室等の供用利用
	港湾空港局庁舎	3,500㎡			
計		20,900㎡		14,150㎡	

その他施設：有料駐車場（323台） 便利施設（85㎡）

※旧国際友好記念図書館（現大連友好記念館）は平成30年3月31日閉館

3 複合公共施設の概要と特徴

【複合公共施設の概要】



【複合公共施設の特徴】

- ・駐車場から安全かつ円滑に右左折で各方面へアクセス可能
- ・**庁舎機能を2階以上に配置**することで防災拠点としての機能向上
- ・回遊性や賑わいの連続性に配慮した『**にぎわい広場**』を計画
- ・市民が良く利用する**低層階に憩える空間**を計画
- ・1階から2階への快適な移動手段として**エスカレーター**を設置

4 省エネルギー化への挑戦

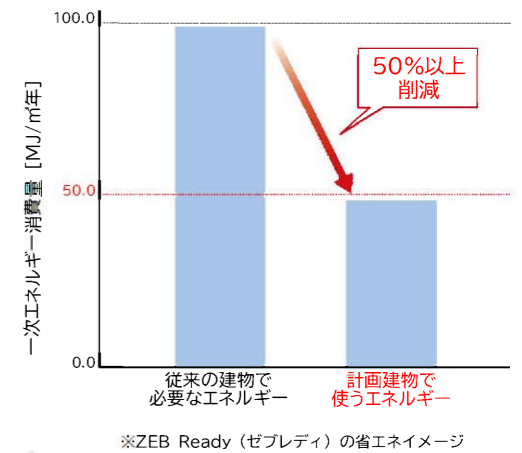
【ZEB Ready（ゼブレディ）の実現】

LowEペアガラスの採用、ルーバー・庇等の日射遮蔽機構の設置など、建物外皮性能の高断熱化を図るとともに、高効率な省エネルギー設備の採用により、基準となる建物に比べて一次エネルギー消費量を50%以上削減しています。

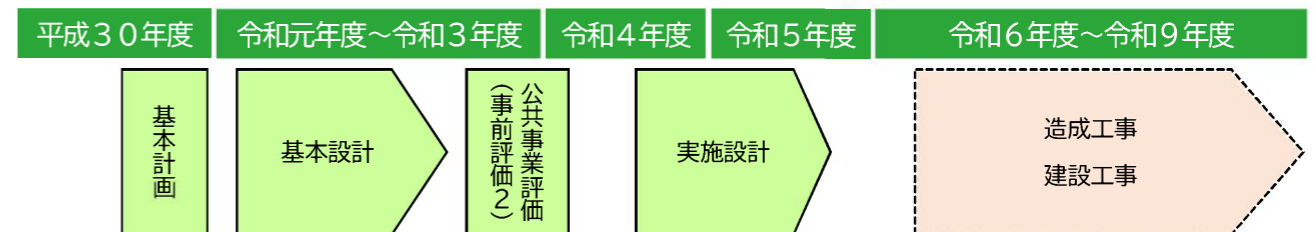
※Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略称で、「ゼブ」と呼びます。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支ゼロを目指した建物の総称。

※ ZEB Ready とは、再生可能エネルギーを除き、基準一次エネルギー消費量から50%以上の一次エネルギー消費量削減に適合した建築物。

※出典：環境省ホームページより



5 スケジュール



門司港地域複合公共施設の整備イメージ

※現時点でのイメージです。今後変更になる可能性があります。

① 全体俯瞰図



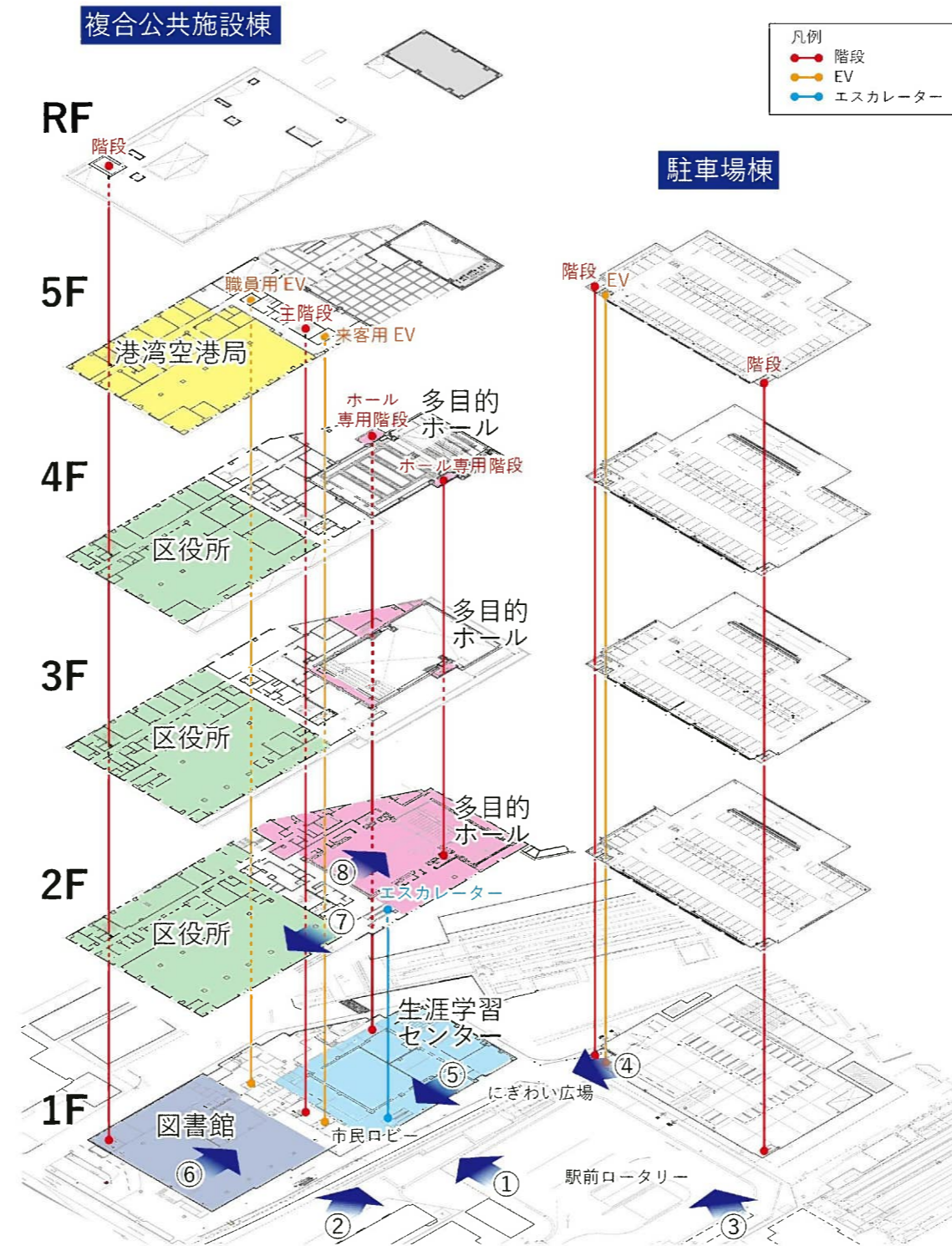
② 複合公共施設棟（駅前ロータリー側）



③ 駐車場棟（駅前ロータリー側）



④ にぎわい広場



⑤ 市民ロビー（1階）



⑥ 図書館（1階）



⑦ 区役所窓口（2階）



⑧ 多目的ホール（2階）



施設名称	計画面積
港湾空港局庁舎	1,945 m ²
区役所	7,000 m ²
多目的ホール	2,350 m ²
生涯学習センター	1,240 m ²
図書館	1,700 m ²
計	14,235 m ²

施設名称等	計画面積・台数
駐車場	8,122 m ²
駐車台数	323 台
自転車駐輪台数	135 台
バイク駐輪台数	37 台